

お待たせしました

人間ドック・脳ドック 受付

■対象者

75 歳未満の若狭町民（昭和 11 年 4 月 1 日以降生まれの方）
 ※ただし、より多くの方に受診していただくため、平成 21 年度に人間（2 日）ドック、脳ドックを受診された方は、同じ種類のドックを受診することはできません。
 また、特定健康診査を受診された方（今後受診予定の方）も人間（2 日）ドックの受診はできません。

■申し込み受付

8 月 11 日（水）8:30 から電話で

■申し込み先

健康課 TEL 62-2721

※住所、氏名、生年月日、電話番号、希望病院、希望日をお知らせください。

種別	病院名	実施日	定員	自己負担金
人間 (2日) ドック	杉田玄白記念 公立小浜病院	10/7(木)～8(金)、11/29(月)～30(火)、1/24(月)～25(火)、 2/21(月)～22(火)、3/7(月)～8(火)、3/14(月)～15(火)	各 2 人	32,865 円
	福井県 済生会病院	10/4(月)～5(火)、10/19(火)～20(水)、10/27(水)～28(木)、 11/16(火)～17(水)、11/24(水)～25(木)、12/8(水)～9(木)、 12/14(火)～15(水)、12/16(木)～17(金)、12/20(月)～21(火)	各 2 人	男 34,000 円 女 35,500 円
脳 ドック	杉田玄白記念 公立小浜病院	2/22(火)	1 人	21,000 円
		10/26(火)、3/1(火)	各 2 人	
		11/30(火)、1/25(火)、2/22(火)、3/8(火)、3/15(火) ※人間（2 日）ドックとセットで受診することもできます。	各 2 人	
	福井県 済生会病院	10/8(金)、11/10(水)、11/22(月)	各 1 人	23,625 円
		10/15(金)、12/17(金)	各 2 人	
		10/4(月)、11/16(火)、12/8(水)、12/20(月) ※人間（2 日）ドックとセットで受診することもできます。	各 2 人	

○注意 杉田玄白記念公立小浜病院の脳ドックの受診日は火曜日ですが、結果説明日が次週の火曜日になります（病院の状況により変更あり）ので脳ドックを受診する方は 2 回通院して頂くことになります。

福井県済生会病院の脳ドックの内、2 日ドックとセットで受診できる日に、脳ドック単独で受診すると、その日の込み具合によっては結果説明の時間がとれず、後日改めて結果説明させて頂く場合があります。脳ドック単独の日はその日に結果説明をさせていただきます。

瓜割 流しそうめん イベント

夏の風物詩




8 月 1 日（日）10:30～15:00
 若狭瓜割名水公園

※なくなり次第終了させていただきます。

●問い合わせ
 若狭瓜割名水公園管理組合 TEL 62-0186



WAKA 若狭 SAI 祭

自然。共有。
輝く誇り。



9月20日(祝)
縄文ロマンパーク

第1回 若狭町まつり - 若祭 -

一昨年まで町が実施してきた「名水まつり」や「縄文まつり」。

先ごろ、住民の代表「イベント検討委員会」から、一つの町で一つのまつりが望ましいと提言がありました。

この提言をもとに、「第1回若狭町まつり - 若祭 -」を開催することとしました。

募集

Event Staff

イベント スタッフ

ここに住むわたしたちが主体となり
時間や自然の恵みを共有できる
新たなまつりをめざします。
わたしたちみんなが「土」「水」「人」のぬくもり、
そして「若狭のぬくもり」を肌で感じ、
まちに誇りを持ち、未来へ導く
希望を輝かせます。

●問い合わせ 若狭町まつり実行委員会事務局
(観光交流課内) TEL 45-9111



すまいる

子育て・介護・健康・食育

あそびに
おいでよ!!

げんキッズ

子育てサークル

子育て中...

主人は仕事
こもりっきり
育児

子どもの成長
一つひとつに
不安

核家族化で
家の人に
相談できない

子どもと一緒
に安心して過
ごす場所...

近くに同じ境
遇の人がいな
い

かわいいはず
の子どもなの
に疲れる

げんキッズは子育ての不安を解きほぐします

参加
自由



▲シャボン玉あそび

子育て中、子どもと居ることが苦痛になっていることはありませんか？

口に出しては言えないけど、子どもとずっと一緒に居るストレスを分かってもらえない。でも、核家族化し、個人主義が主流となった現代では知らないところへ入っていくのはあっくう。

でも、でも、人と接していないと不安や不満がたまりますよね。そんなとき、ここにくれば心がスーッと楽になります。

- 同世代の^{未就園児}子どものお母さんが集います
- 楽しみながら、子どもとスキンシップ
- 悩みを抱えるお母さん同士がフレンドシップ
- 講師の先生が楽しい子育てをアドバイス、育児のポイントを伝授します

話さなくても、いいんです。

ミュージックケア（音楽遊び）で
子どもと一緒に、お母さんたちと一緒に
体を動かしながら
子どもとの接し方を肌で学びます。

●問い合わせ 福祉課 TEL 62-2703

すまいる

キラリ 中央っ子

中央保育所

vol. 1

保育所（園）を紹介するコーナーです。

子どもたちはどんな遊びや生活をしているのでしょうか。

また、保護者の方は保育に何を求めているのでしょうか。

考える力を育てたい

便利な生活に浸りすぎていると、工夫や知恵が生まれにくくなり、「どうすれば？」と考える力が乏しくなってしまいます。

保育所では、わざとおもちゃをなくすことで、自然に近い生活の中から創意工夫する力を引き出そうとしています。

大人が用意した形式をおしつける保育ではなく、子どもたち自らが考え、汗して苦労して得るものを大切にしています。



▲うまく切れるかなあ？



▲母「とっても楽しいです」、子「ほら長いやろ」



▲願いが届きますように…う～ん、つけるのむずかしいぞ

みんなでルール、覚えるよ

七夕を数日後にひかえ、笹飾り用の竹を切りに行きました。

保育所を出発する前に七夕のお話を聞いて、近くのお宅の裏庭にある、3本の長い竹を切らせてもらいました。

竹にも命がありモノを大切にする気持ち、時間がかかってもやればできるという達成感を得て、自分たちでルールを決めて、順番を守り進めていくことができました。

同時に、お互いに教えあいながら道具の使い方を習得することもできました。

自然にふれて五感をみかく

太い竹を切ったり、長い竹を運んだり、一人ではできないけれど、みんなが力を合わせればできるという、協調性や協力を学びました。

さらに、本物にふれることでその特性を肌で感じ五感が研ぎ澄まされます。

また、七夕の前週の日曜日には保護者参加で笹飾りを作りました。お家の人と一緒に作ることに楽しみがもて、やればできるという自信とともに、次への目標が生まれたことでしょう。